

朝気持ちのいい目覚め、ラジオ体操を聞いて目が覚める、あの元気な声をきいているとなぜか朝寝はできない。かみさんのつくる朝飯がほぼできあがるころだ。いつもなら7時までは頑張ってるのだがきょうはいつもと違って清々しいので起きることにした。ラジオ体操は聞くだけにして、手足をおもいきり伸ばしてヨッコラショ。9月1日は秋だ。8月中は本当に暑かった、猛暑日が何日も何日も遠慮なくやってきた。これも温暖化だろうか。今日は清々しい朝だ。下に降りていくと、こんな早くどうしたの？とききましたね。チョット早いだけだ。ビックリするほどのことはない。

以前、梅ノ木があったころウグイスが来て美しい声で目覚めをうながしてくれたが、今はラジオ体操だ。

鶯は声がいいが、カッコウの声もいい。カッコウはカッコウと鳴く。

フィンランドやロシアでは、鳴き声を悲しみの声として、フランスでは明るく楽しい声として、それぞれの民謡の中でうたわれている・・・という。

今の千葉の家ではいずれも聞くことはできないが、群馬の田舎では畑仕事をしていると聞くことができる。子供の頃の話だが照月湖（北軽井沢）では「静かな湖畔の森りの影から・・・」カッコウの声はいつでもすがすがしくきくことができた。

夏から秋 2020/9/1 Hidekuro



カッコウ

ディサービスで用意された間違い探しや算数・数学、漢字問題等々でも何といっても難しいのはナンプレだ。ナンプレは初級、中級、上級とあるが、今完成まじかの初級ナンプレをやっている。このナンプレは8ヶ月もやっている。何が問題かと言えはマスの中はできた、では縦はどうかとやれば、同じ数字があるので、これを消しゴムで消し、入れ替える。すると今度は横にダブリが生じる。

「あちら立てれば、こちらたたく」この繰り返した。いったい、どうせいというのだ。ナンプレは初級が一番難しいのではないだろうか？消しゴムでゴシゴシ、もう穴があきそう。初級ナンプレがこんなに難しいのであれば、上級はどうなっているのだろうか。初級ナンプレを作った人は解けるのだろうか？公式なんかがあるといいのだが。もう二三回やってできなければもう止める。また、消しゴムで穴が開いたらただちに止める。

ナンプレは難しい 20/9/10 Hidekuro

